



三条北ロータリークラブ週報

2014-2015年度

国際ロータリー会長：ゲイリー C. K. ホァン「ロータリーに輝きを」

第2560地区ガバナー：佐々木昌敏「ロータリーは、あなた自身から」

— You are Key —

三条北ロータリークラブテーマ「ロータリーライフを楽しみましょう」

会長：岡田 健

幹事：外山 裕一

SAA：金子太一郎

例会日：火曜日12:30~13:30

例会場：三条ロイヤルホテル TEL34-8111

事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内

TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488

AD:north@sanjo-nrc.org

HP: <http://www.sanjo-nrc.org>



例会日 2015. 3. 3

累計No.1352

当年No.32

本日の行事：「識字率向上月間」

- ◆本日の出席：65名中35名
- ◆先々週の出席率：65名中48名 73.85%
(前年同期 73.53%)

- ◆本日のゲスト
RI 第2560地区国際奉仕委員長
青木 省一様 (長岡西RC)

- ◆先週のメイクアップ (敬称略)
2月25日三条RC 土田百合子
26日加茂RC
中條耕二、石黒隆夫

ロータリーの友3月号紹介

横 3P RI 指定記事 RI 会長メッセージ
『サンパウロで友情を築きましょう』

横 7P~13P 識字率向上月間
『子供が教室で学べるように』

横 26P~30P RI 会長エレクトの紹介

横 49P 掲示板
新クラブ(既存クラブの合併)



会長挨拶：岡田 健会長



皆さんこんにちは
今日で私は 70 歳になりました。

新聞の読者欄に「高齢運転者標識を付けましょう」という提案がありました。不勉強の私は、このマークをつけた車に無理な幅寄せや割り込みをすると罰せられるという事を知りませんでした。

70 歳を恥じる事は無いので私も付けようと思います。それともう一つ目を引いた記事ですが、ベトナムが日本を先生役に公務員制度改革に着手したという事です。一例ですが「採用試験で親友の子供が受験に来たらどうしますか」という問いですが、これはベトナムの内務省の採用担当者の質問です。

それに対して、日本の人事院、講師の答えは担当を他の人に変わって貰います。それに対してベトナム側は担当を変わってもらった人に親友の子供の事を頼むのか？という質問が重ねられました。人事院の答えは採用に手心を加える事、そのことが法に触れる事なのですよ。とその辺の考え方ではベトナムと日本では大きな差がある様です。共産党=政府という国がどこまでできるか判りません。道のりは遠い様に思われます。中国に勉強に行かないのか？の質問には「我が国よりも悪い国へ研修に行くことはあり得ません。」との事でしたが日本の役人は手本になれるのか、はなはだ疑問です。と思うのは私だけでしょうか？終わります。

幹事報告：外山裕一幹事

- ・山本ガバナーエレクトより 地区協議会開催のご案内
日時 2015年5月10日(日)9:00～
会場 ホテルオークラ新潟
(該当委員長に案内文書配布)
- ・ロータリー地域協働ネットワークセンター長より クラブ連絡員登録のお願い
- ・三条南RCより 市内4RC会長幹事会開催のご案内(次年度)
日時 2015年3月30日(月)12:00～
会場 三条ロイヤルホテル
- ・三条ローターアクトクラブより 3月第二例会のご案内
日時 3月19日(木)19:30～
会場 リサーチコア4階
卓話講師 三条北RC会長 岡田 健様



理事会報告：第9回 平成27年3月3日11:30～12:30 於：三条ロイヤルホテル

出席者：岡田 健、外山裕一、外山晴一、今井克義、石川勝行、金子太一郎、丸山 勝、斎藤 正
落合益夫、星野義男、佐藤秀一、淵岡 茂、岡田大介、渋谷義徳、坂内康男(オブザーバー)

出席数：15/14 (内委任状4)

- 協議事項
1. 研修親睦旅行企画案詳細報告 承認
 2. お靴のベッド寄贈依頼の件 承認
今年はない
 3. 骨髄バンク命のアサガオにいがた協力依頼の件 承認
クラブとしてはしない。会員に周知し個々に任せる
 4. 雑誌月間日程変更の件 承認
4/7→3/31に変更
4/7はクラブ休会とする。4月理事役員会は3/31に開催



委員会報告：雑誌委員会 ロータリーの友誌3月号紹介

横3P RI指定記事 RI会長メッセージ『サンパウロで友情を築きましょう』
国際大会に行くことはなかなかできないのですが是を読んで、その意味を汲み取
って頂ければいいのではと思います。

横7P～13P 識字率向上月間『子供が教室で学べるように』

他のクラブの活動が紹介してありますが、読みますとこういうきっかけで国際奉仕活動に結びつ
くという事がわかるようです。

横26P～30P RI会長エレクトの紹介「ラビと読んで下さい」とおっしゃる親しみ安い方の様です

横49P 掲示板 新クラブ(既存クラブの合併) 埼玉の草加中央と南クラブが合併という事です
が、草加市の人口は三条より多いのですが、ロータリークラブは3つです。2560地区に人数の少
ないクラブがありますが、合併という事も考える時期なのではと思います。

昨年(2014年)の友誌3月号と比べて見ますと国内34地区ではクラブ数は増えていますが、減っている地区も
あります。

友誌に興味を持って頂き、記載されている記事からネット等で調べていくと面白くなっていくよう
に思います。



*****ロータリー財団ボックス3日現在累計290,000円*****

石丸 進君 先週、三重県伊勢神宮に行き、高橋さんと一緒にいまわしい過去とふしだらな考えを洗い流して来ました。特に高橋さんはすごく洗われた様です。

高橋 研一君 先週、三重県の旅行2泊3日で神社の参拝が5ヶ所。なんでこんなに多いのかと思いましたが石丸会員の願っての考えがあった様です。



*****米山奨学ボックス3日現在累計356,000円*****

本間建雄美君 第2560地区国際奉仕委員長青木省一様「識字率向上月間」宜しくお願ひ致します。

樋口 勤君 米山奨学に協力して

森 宏君 最近患者さんが多く、外来が終わらず例会休みがちです。



*****ニコニコボックス3日現在累計739,000円*****

青木 省一君 (長岡西RC) 識字率向上月間という事でお話させて頂く機会を与えて頂き感謝申し上げます。

岡田 健君 今日で満70歳になりました。青木さん卓話宜しくお願ひ致します。

中條 耕二君 長岡西RC青木省一様よろこそ三条北RCへおいでくださいました。いよいよ田中ガバナー誕生です。

岡田 大介君 本日は青木省一国際奉仕委員長、長岡西ロータリークラブよりお越し頂有難うございました。宜しくお願ひ致します。

笹原 壯玄君 年度末の月となり忙しくなりますね。納税申告は終わりましたか？

武田 恒夫君 羽賀さんの足を見て・・・早く治ります様に

石川 友意君 国際奉仕委員長青木様の卓話に感謝して

田中耕太郎君 青木省一様よろこそ三条北RCへ

瀧岡 茂君 石川さん、小林さんニコニコ協力。もう春です。

斎藤 正君 青木地区国際奉仕委員長さんの卓話に感謝して

石川 一昭君 今日ひなまつりです。もうすぐ春です。花粉も飛んで大変な季節になりますが、体調に注意し3月を乗り越えて参りましょう。



(イライラBOX)

羽賀 一真君 またもや足を骨折してしまいました。左足が治ったとたん今度は右足です。みんなに「そそっかしいんじゃないか？」と言われますが全くその通りです・・・。

本日の行事：「識字率向上月間」 RI第2560地区国際奉仕委員長 青木省一様

講師紹介：岡田大介国際奉仕委員長



皆さんに、質問です。識字率は向上していますでしょうか？
答えはこれからの青木委員長のお話を聞いて頂きたいと思ひます。2012年Rの友誌では6歳以上の文盲が6億7千700万人、2014年7億7千500万人内64%女性だそうです。今年どうなっているかは卓話をお聞き頂き、何とか識字率向上の力になれるよう頑張る行けるようお話が聞けると思ひます。ご静聴宜しくお願ひ致します。

「識字率向上月間について」



今年度地区国際奉仕委員長を仰せつかりました長岡西クラブに所属して居ます。
実は10数年前に三条に「青木省一」全く同姓同名の方がいると言う事はある方から聞いておりました。その方が「おい青木、ゴルフの腕上げたな。大新潟CCでハンデ14で上がった、上手くなったな」「済みません、長岡CCで24です」と言う事があり調べましたら

全く同じ字で同姓同名の方が居られると解り一度、お逢いしたいと思って居りました。そして三条北RCのメンバーだと言う事を先ほどお聞きし、今日は欠席だと言う事もお聞きして非常に残念に思っています。

今日配布されていますロータリーの友に月間として掲載されているのを見まして、私がお話するよりも読んで頂いた方が分かり易いと思いつながりながらここに立っております。ただ岡田委員長より数ヶ月前に「識字率向上月間」で話をされる様にとのお話がありましたが、国際奉仕委員長と言えども、知識勉強を全くしていないとお話させて頂きました。それでも私も勉強するちょうどよい機会だと思ひ、お引き受けしました。気持ちはあったのですが、行動が伴わない私の性分でここ10日間くらいでネットを開いたり私の勉強ですので、これからお話することは「百も承知、判っている」と思われるかもしれませんがお付き合い頂きたいと思ひます。

識字（しきじ）とは、文字（書記言語）を読み書きし、理解できること、またその能力。

機能的非識字

文字を読み書きできない非識字（illiteracy）と読み書きを流暢にできる段階（full fluency）の間に、初歩的な読み書きはできても、読み書きを社会参加のために満足に使いこなせない段階が存在する。これが機能的非識字（functional illiteracy）である。1956年にウィリアム・グレイ（William S. Gray）は識字教育に関する調査研究報告書の中で、「機能的識字（functional literacy）」の概念を明確にして、識字教育の目標を機能的識字能力を獲得することに設定すべきと提言した。

国別の機能的識字率（2013年ユニセフ一覽より）

人口は2012年調べ

- 中国138,400万人（90.9%）
- インド123,600万人（74.04%）
- アメリカ31,700万人（99.7%）
- インドネシア24,600万人（87.9%）
- ブラジル19,800万人（86.4%）
- パキスタン17,900万人（41.5%）
- ナイジェリア16,800万人（66.9%）
- バングラディシュ15,400万人（41.1%）
- ロシア14,300万人（99.6%）
- 日本12,700万人（99.8%）

日本は限りなく100%に近いなと思ひながらも、データ的には99.8%です。0.2%は例えば身体的な障害があることによって読むこと、書くことができないという方がいらっしやる事によってだと思われるのではないかな。

アフリカではデータも無く、こういう調査が行なわれていない国がたくさんあると思ひます。また国によっては民族がたくさんあって、自分の母なる言葉（母語）と国の公用語が異なる国もたくさんあると思ひます。一概に国単位で計る事はなかなか難しいと思ひます。

歴史に見る識字教育

義務教育開始以前の文字教育を担ったのは寺子屋であり、かなと簡単な漢字の学習、および算数を加えた「読み書き算盤」は寺子屋の主要科目であった。寺子屋の入門率から識字率は推定が可能であるが、確実な記録の残る近江国神埼郡北庄村（現・滋賀県東近江市）にあった寺子屋の例では、入門者の名簿と人口の比率から、幕末期に村民の91%が寺子屋に入門したと推定される。

近世の識字率の具体的な数字について明治以前の調査は存在が確認されていないが、江戸末期についてもある程度の推定が可能で明治初期の文部省年報によると、1877年に滋賀県で実施された一番古い調査で「6歳以上で自己の姓名を記し得る者」の比率は男子89%、女子39%、全体64%であり、群馬県や岡山県でも男女の自署率が50%以上を示していたが、青森県や鹿児島県の男女の自署率は20%未満とかなり低く、地域格差が認められる。

第二次大戦終結後、1948年（昭和23年）に「日本語は漢字が多いために覚えるのが難しく、識字率が上がりにくいために民主化を遅らせている」という偏見から、GHQのジョン・ペルゼルによる発案で、日本語をローマ字表記にしようとする計画が起こされた。そして正確な識字率調査のため民間情報教育局は国字ローマ字論者の言語学者である柴田武に全国的な調査を指示した（統計処理は林知己夫が担当）。1948年8月、文部省教育研修所（現・国立教育政策研究所）により、15歳から64歳までの約1万7千人の老若男女を対象とした日本初の全国調査「日本人の読み書き能力調査」が実施されたが、その結果は漢字の読み書きができない者は2.1%にとどまり、日本人の識字率が非常に高いことが証明された。柴田はテスト後にペルゼルに呼び出され、「識字率が低い結果でないと困る」と遠回しに言われたが、柴田は「結果は曲げられない」と突っぱね、日本語のローマ字化は撤回された。

機能的識字向上プログラム

読み書き能力の不能の悲劇は、文字を読めない人は独立を拒絶され、悪質なごまかしや貧困や、生きがいを与える人間としての尊厳の喪失の犠

性となることです。読み書き不能は人の品位を落させます。それはまた経済的、政治的、社会的そして個人的な発展の大きな障害です。読み書き不能は国際間の理解、協力及び世界平和をはばむ障害物になります。

読み書き能力の教育は、1978年にロータリーのものとの「保健、飢餓追放、および人間性尊重3-H委員会」によって優先的プログラムと見なされました。

1985年にRI理事会は、10年間計画により、読み書き教育の強調を実施することを宣言しました。この強調は、1992年、理事会により2000年まで延期されましたが、理事会はこの強調を再度、2005年まで延期いたしました。

辞書の寄贈、学校建設、個人指導者としての奉仕のいずれの形をとるにしろ、ロータリアンは識字率を高める活動を積極的に行なっています。この地区に於いても、マッチンググラントやグローバル補助金を使ってのプログラムがなされていますが、地区に資料として残っていない現状の様です。是が単年度事業の弊害でもあるように思います。

最近の出来事を紹介させて頂いて終わりにさせて頂きます。

じわじわと広がる日本社会の格差。それは教育にも多大な影響を与えている。

「日本は識字率 100%ではないのではないか」男性教諭の実感

授業で生徒に教科書を音読させると、漢字をほとんど読み飛ばす。自分の住所も書くことができない。そんな生徒はクラスに1人、2人ではない。

そうした生徒たちは、生活保護を受けるなど貧

しい家庭の子が多いということ。夜に親が家にいない子も多い。ひとり親で、生活費を稼ぐために夜も働いているからだ。

とありますが、実態が判らないまでも、様々な事情で、一人親家庭が増えてきている、家庭の環境で学校へ行けない、行かない。そして学校に対する学ぶ意欲が低下している子どもが増えてきているのかもしれない。実際に昨日、今日のワイドショー番組を見ていると事件被害者の少年も3人の子どもと母親の家庭です。母親は、朝早くから夜遅くまで働き、少年とゆっくり話す時間も無かった、こんな話を聞くと我々は識字率向上は外国の話だと思っていたのが、日本も識字率は下がって居るのかもしれないと感じました。

先進国でも所得格差の拡大が進んでいて、その影響が「あるのか」「無いのか」一概に結論は出ないと思いますが、識字率向上を考えるにおいて、外国の話ではない、国内においてもその課題はあるのかと思います。今後、国際奉仕活動ではなく、社会奉仕活動、職業奉仕活動であるのかもしれないと思っております。

最後にいい話を紹介します。

昨年暮れの衆議院議員選挙の選挙中にラジオで日本の選挙の投票用紙は名前を書きますが名前を書かせる投票用紙は日本だけだそうです。先進国でも番号や記号を記入する様です。多民族国家は公用語が書けない人もいます。そうか日本は識字率 100%なんだとその時思ったのですが、どうもあやふやな様です。

中途半端な私の話で「識字率向上月間」になったかどうか不安ですがこれで終わりとさせて頂きます。どうも有難うございました。

ロータリーの友3月号より



ロータリアンは子どもたちが学校・教室で学べるように支援しています。

- ・地域企業の協力でシャープペンシルをフィリピンの児童に（第2770地区）
- ・過酷な通学環境緩和のために放置自転車を贈呈（第2620地区）
- ・素晴らしき元留学生たちと、ミャンマー寺子屋支援活動（第2570地区）



ハイライトよねやま 179

2015年2月12日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 50年以上前の奨学生から匿名寄付も —

1月までの寄付金累計は前年同期と比べ3.0%増、約3千万円の増加です。普通寄付金が1.5%増、特別寄付金が3.9%増となりました。1月単月の寄付金は1億6,500万円と、過去10年間で2番目に低い金額ではありましたが、累計では直近6年間で最高額です。

1月の寄付の中には、現在は台湾に住む今から50年以上前の元米山奨学生から「米山奨学会にずっとお礼をしたいと思っていましたが、これまで何もできずにいたので」と、匿名で100万円の高額寄付をいただきました。また、「米山奨学会の目的に賛同した」と、第2580地区のカウンセラーからも100万円の寄付をいただきました。多くの方々からのご支援に心より御礼申し上げます。

現在、下期分普通寄付金を各クラブからいただいています。1月末現在、全クラブの74% (1,675クラブ) からご送金いただきました。今後も引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

2015学年度の新ロータリー米山奨学生が決定

12月～2月初めにかけて、2015年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が各地区選考委員会によって行われ、合格者が決定しました。1,357人の応募に対し、奨学金プログラム別の合格者数は、博士・修士・学部課程奨学金（指定校応募）が519人、地区奨励奨学金（指定校応募）が16人、クラブ支援奨学金が8人、海外応募者対象奨学金（海外からの個人応募）が6人です。このほか、海外学友会推薦奨学生を現在選考中です。国籍・地域別では、中国42.4%、韓国13.8%、ベトナム10.4%、台湾・マレーシア4.4%の順です。今回の合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた729人が2015学年度奨学生となる予定ですが、今後、継続者および他の奨学金合格者による辞退、海外学友会推薦奨学生の可否などによって、人数の変動が見込まれます。

全国学友会会長セミナーを開催

国内の米山学友会会長を対象としたセミナーが1月17日、都内で開催され、全国31の学友会の代表者29人と、よねやま親善大使の楊小平さんが参加しました。

午前のセミナーでは、当会事務局からの説明のほか、関西学友会の何玉翠会長、第2800地区学友会の尤銘煌会長、第2620地区学友会の上野佳子会長から、それぞれ学友会運営についての事例が紹介されました。また午後は、3つのグループに分かれ、各学友会の抱える悩みや組織づくり、地区との連携などに関する活発な意見交換が行われました。



学友会会長セミナーは2006年以來の開催ですが、地区を超えた横のつながりを深め、ほかの学友会からヒントを得る良い機会となったようです。アンケートでは「長年の課題を話し合うには時間が足らなかった」「今後も定期的に開催してほしい」などの声も聞かれました。お忙しい中、ご参加いただいた皆さまに心から感謝いたします。